

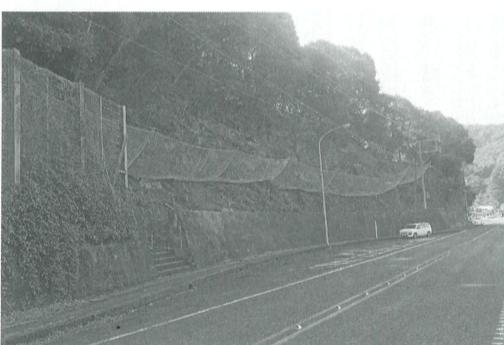
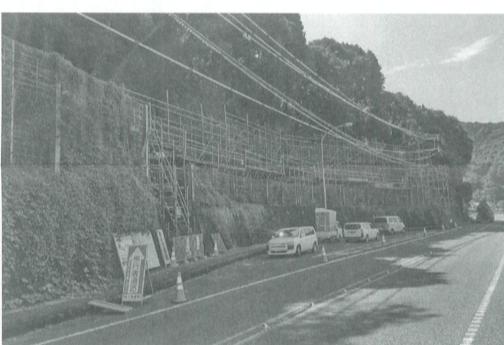
最前線レポート

発行所
大洋基礎工業株
たいよう新聞委員会

声援

工事件件名	令和二年度
二見地区外構造物補修工事	国土交通省九州地方整備局 熊本河川国道事務所 八代維持出張所
元請会社	合資会社 三共建設
工事場所	熊本県水俣市袋地区 （）熊本県八代市二見地区
施工期間	令和三年七月一日 ～令和四年一月三一日
工事概要	二見地区落石防護柵撤去 (ロックバリア工法) A二九〇地区・ 落石防止柵設置 落石防護柵設置
モノレール設置	LII一〇五・六m A二九一地区（一工区） 落石防護柵設置
転石破碎	LII一四m LII二四m
転石除去工	LII二六m 袋地区
落石防護柵撤去	LII一〇四・二m
落石防護柵設置	LII六六・一m

た、感染が拡大している地域の学校では、学校と家庭間の感染を食い止める狙いで、午前のみで学校が終わる半日授業の開始や、部活動の完全中止などの策をとっている地域もあるようですが、感染の広がり方を見ますと致し方ない事とは思いますが、一度しかない学校生活を制限される学生達のことを考えると、非常に不憫な気持ちになります。また自分がどれだけ恵まれていた環境にいたのかを痛感させられます。一刻も早い終息を待ち望む毎日です。



た、感染が拡大している地域の学校では、学校と家庭間の感染を食い止める狙いで、午前のみで学校が終わる半日授業の開始や、部活動の完全中止などの策をとっている地域もあるようですが、感染の広がり方を見ますと致し方ない事とは思いますが、一度しかない学校生活を制限される学生達のことを考えますと、非常に不憫な気持ちになります。また自分がどれだけ恵まれていた環境にいたのかを痛感させられます。一刻も早い終息になら待ち望む毎日です。

笑顔と声を掛け合う姿。また、一人がミスをした時でも「これで新しい技」などと声を掛け、仲間を気づかう姿。そしてどんな状況に置いても崩さない前向きでポジティブな姿勢。そんな選手達の取り組む姿勢や仲間へ対する行動は、私達の仕事や職場、現場作りに置いてみても大事なことだと思います。ですが、慌ただしく過行く中で時には忘れてしまう事もあります。かくいう私も、五年間四国営業所を引っ張っていただきたい前任の柴原所長より引継ぎ、一年が経とうとしておりますが、振り返つてみると、選手達とさて作業手順ですが、先ず作業用足場組立を行った後、ロード型）にて支柱基礎部と山側・サイドアンカー部にアンカー打設を行います。養生完了後、引抜試験を実施したのち本体施工になります。まず支柱・サポー

元請様の方々から協力やフローも頂きました。乗り越えられた一年であつた事に改めて気づかされ、忘れてはならない事と胸に刻み直しました。私達、四国営業所というチームもそんな当たり前の事を忘れてしまっている人達に思い出させてあげられるような、チームに成つていただければと思います。

また、チーム力に置いて、連携能力だけでなく、個の能力の向上や人材育成も重要です。人材と言えば、四国営業所にも昨年度から新入社員が加入し、活用二ツ目立を行い、山側・サイド・サイド上下部にロープ（Φ一六〇mm）を取り付けました。次にメインロープに緩衝装置を設置します。この時トルクレンチを使用し規定値が得られます。次にメインロープ行います。繰り返し作業を行います。次にネット取り付になります。

は大変厳しい中、御発注して頂き、誠にありがとうございます。私たちにとっての最大の営業とは、現場にて安心・安全により高品質な物を変わることなく提供することだと思っております。お客様のご期待を裏切らない事は勿論、ご期待を上回る仕事を行つていけますよう邁進する所存ですので、皆様のご指導とご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

クでは世の中を大いに盛り上げ、活気づけてくれた多くの選手達のプレーを見る事ができました。特に印象深かったのが、カーリング女子の選手達です。プレーに置いて真剣に取り組む姿は勿論ですが、どんな状況に置いてもチーム全本が常に明るい

は相反する行動をとつていた様に思えます。目の前の事をこんなにしていくことで必死になり、周りを気づかう事もできず、更には周りからのフォローにも気が付かず、一人だけでやり切つたという錯覚に陥つてしまつてゐます。当り前の事気を与えてくれ、また新たな色を加えてくれようとしております。今後、四国営業所を代表する柱となつてくれる事を期待すると共に、四国職員一同も一緒に成長していくたらと思つております。

計報

生前 父に賜りましたご厚誼に
び申し上げるとともに、ここに
深く御礼申し上げます。
尚後日に故人を偲ぶ会を行
う予定ですが、コロナ禍の情勢
を鑑みながら日程を決めさせて
いただきます。日程が決まりし
だい改めてお知らせいたします。

代表取締役社長
加藤 行正

営業研修会を開催

二月二六日に営業研修会がオンライン開催されました。各支店営業担当者を中心に、本社・工事担当・顧問の皆様含めて約五〇名が参加致しました。

午前の部では、過去の業績傾向の分析を行い、来たる五六期への取り組みと展望を発表共にしました。課題を洗い出すことで、売上高一五〇億円達成という目標達成に向けての意思を皆さんで固めました。

午後の部では、営業力向上の取り組みとして各支店の発表担当者がそれぞれ担当工法(建築工事・重機土木・地中連続壁工・障害物撤去工)、引抜同時充填工、回転式破碎混合工法、推進工、元請工事、土壤・地下水汚染対策工、太陽光事業、地盤改良工・薬液注入・高圧・機械攪拌・切土補強土壁)、《軽量盛土》、放電破碎工について、

得意先での営業提案を想定した発表を行いました。

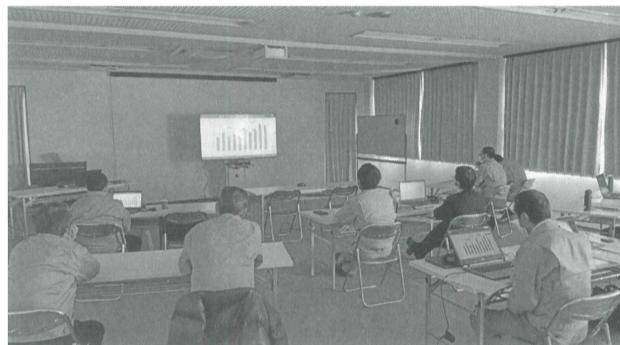
六鹿常務取締役営業本部長主導のもと今回全社統一書式で新たに制作された資料は先述の工法について「概要、特徴、適用箇所、施工実績、従来工法との比較と優位性」等を図写真とともに簡潔にまとめたものです。

発表を受けて、各工法への理解を深められただけではなく、大洋基礎工業の得意とする工法や工種の多様さを学ぶことができました。また、資料規格を揃えることでプレゼンテーションに必要な情報や過不足していた要素が並列に視覚化整理されたようを感じ、大変参考になりました。

なぜ良いと感じたのか、なぜその作りにしたのかを意識的に言語化しプラットフォームアップを行っており明瞭で整然としたわかりやすさが作れます。これは営業力にも通じると思いまして。今回制作した資料はバージョンアップを重ね、将来的には導き上げます。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

東京支店

営業部 井ヶ田七海



て、今年こそ無事に開催されることを期待しております。

当営業所は大内福支店長兼所

長の下、施工管理の田中一生係長と私、事務員の大内麻里部員の四名に、昨期から新たに施工部員の二名が加わり、六名体制となりました。営業所開設一年の節目となつた昨期は、大規模太陽光発電所の基礎杭・架台・モジュール設置工事を二年件、無災害にて施工する事ができ、完成工事高は過去最高額を達成することが出来ました。営業面、施工面でご協力賜った皆様には大変感謝しております。

私は当社に中途採用して頂きました。

七年になりますが、東北営業所を客観的に表現させて頂くと

これまで同様に様々な変化に対応する必要があります。

太陽光事業については、国が掲げる二〇五〇年カーボンニュートラルの実現に向け、再エネ促進は続く事が考えられます。

大規模用地確保の難しさ、自然災害による規制の強化、固定買取価格制度の転換等、常にその変化に対応していく必要があり

ます。既存の実績にとらわれず、新たな収益の柱を作つてい

く挑戦も必要です。変化と挑戦を楽しみながら、六名で力を合

わせ東北から会社を盛り上げて

いきたいと思います。何卒、ご

変化に対応していく必要があります。リーダー

である大内福支店長兼所長は変化に對応し新たな流れを作る事

がとても上手い開拓者です。東日本大震災の後、ゼロからスタートさせた営業所をここまで大きくなされた実績がなによりの証



共済会だより

☆お出産おめでとうございます
三月三日 宮川 優志(ゆうし)くん
長男 東京支店 環境開発部

☆お悔やみ申し上げます
三月八日 故 豊住 満 合掌

三月四日 故 橋本 啓 ご本人
大阪支店 環境開発部

二月一日 合掌

☆新しい仲間
山本 賢次 建築事業部

三月一日 杉浦 剛志

故 橋本 啓 ご尊父

九八五年)から開催され、毎年五〇〇〇人近い踊り子が扇子を両手に小気味よく舞うすずめ踊りが有名で、現在では仙台七夕まつりとなれば、仙台の代表的な祭りとして親しまれています。小学校の運動会で全校生徒が披露するすずめ踊りも風物詩となりました。新型コロナウイルス蔓延による二度の中止を経て動き出しています。

国内に目を移すと、長く続くコロナ禍からの出口戦略が模索され始めました。開発された飲み薬の承認も進み、いよいよインフルエンザ同様の扱いに変わってくれるのではないかと期待しております。欧米各国では、すでに規制の緩和や撤廃に向かって動き出しています。さて、東北営業所の拠点であ

防犯意識を 心がけましょう

お知らせ

東京証券取引所は、現在四つの市場区分がありますが二〇二二年四月四日より現在の市場区分を「プライム市場・スタンダード市場・グロース市場」の三つの市場区分に再編されます。各市場のコンセプトを明確にすることと、所属する企業が市場維持のための持続的成長と企業価値向上について積極的に取り組む仕組みとなつております。

当社は二〇二一年七月九日付で東京証券取引所より、「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認しております。株主や投資家の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京証券取引所は、現在四つの市場区分がありますが二〇二二年四月四日より現在の市場区分を「プライム市場・スタンダード市場・グロース市場」の三つの市場区分に再編されます。各市場のコンセプトを明確にすることと、所属する企業が市場維持のための持続的成長と企業価値向上について積極的に取り組む仕組みとなつております。

当社は二〇二一年七月九日付で東京証